

第2回アジア太平洋経済京都セミナー

「アジア太平洋経済の持続的成長： 深化する相互依存とリスク・マネジメント」

議事日程（2007年10月25～26日、於京都大学桂キャンパス）

平成19年10月25日
外務省OECD室

1. シンポジウム：「アジア太平洋経済の持続的成長：深化する相互依存とリスク・マネジメント」

10月25日(木) 14:00—18:00（於：船井哲良記念講堂2階）

14:00—14:50 オープニング・セッション：開会挨拶と基調講演 （進行：草賀外務省経済局審議官）
--

14:00—14:10 開会挨拶：京都大学副学長

14:10—14:50 基調講演(問題提起)

➤ **基調講演：セッション1及び2の議論における論点を踏まえて問題提起をする。**

- 講演題目：「グローバル化の進展・アジア太平洋の経済発展と新たな課題」
(20分)
スピーカー：イ・ギョンテ韓国対外経済政策研究院院長
- 講演題目：「エネルギー環境分野におけるチャレンジ」 (20分)
スピーカー：齋藤紀彦関西電力副社長兼関西経済同友会代表幹事

14:50—16:10 セッション1：アジア太平洋で今何が起きているか？ ：貿易・投資の質的变化 （議長：草賀外務省経済局審議官）
--

- 近年のアジア太平洋地域においてダイナミックに拡大する貿易と投資の質的変化について議論する。
- 具体的には、貿易と投資の相互関係、企業の貿易・投資戦略(プロダクション・シェアリング、サプライチェーン等)がホスト国の産業構造、ホスト国の経済社会に及ぼすインパクト等を取り上げる。
- 研究者、企業関係者、政府関係者が各々の所見をプレゼンテーションする。

- パネルディスカッションでは、アジア太平洋地域の持続的成長に向けて、貿易・投資の拡大を有効に活用するために必要な国際環境や政策を議論する。

14:50—15:35: プレゼンテーション(各スピーカー15分)

1. 「アジア太平洋地域のための課題と挑戦」(15分)
(スピーカー:チャールズ・モリソン米国東西センター所長)
2. 「タイの持続的経済成長戦略:物流整備と生産性改良」(15分)
(スピーカー:ティエンラウイシッサクン・パタマ・タイ国家経済社会開発庁
マクロ経済部長)
3. 「太平洋経済に関する地域調査の現状」(15分)
(スピーカー:ユエン・パウ・ウー・カナダ・アジア太平洋基金会長)

15:35—16:05 パネル・ディスカッション(スピーカーに以下のパネリストが参加、
フロアとの質疑を含む)(30分)

(パネリスト)(各パネリストの発言は3分以内)

- ✚ 洪徳生台湾経済研究院院長
- ✚ ムハマッド・カディブ・バスリ・インドネシア大学経済学部経済社会研究所所長

16:05—16:10 議長とりまとめ(5分)

16:10—16:30 休憩

<p>16:30—18:00 セッション2:アジア太平洋の共通リスクは何か? :共通リスクの特定・評価・マネジメント (議長:竹内京都大学 教授)</p>

- アジア太平洋地域における相互依存の深化に伴う共通リスクを特定し、評価する方法を議論する。
- 地球シミュレータを使って環境の変化を予測し、アジア太平洋地域における環境・エネルギー分野のブレイキング・ポイントを示唆する。
- パネルディスカッションでは、リスク・マネジメントにとって情報共有の重要性を議論する。また、共通リスクを効果的にマネージするために、域内の利害関係者(政府、企業、研究機関等)がなすべき又はなしうる協力・協調行動等について議論する。

16:30-17:15 プレゼンテーション（各スピーカー15分）

1. 「アジア太平洋経済の課題と挑戦」 (15分)
(スピーカー: ノーマ・マンソール・マラヤ大学経済経営学部長)
2. 「アジア太平洋地域における環境リスクの変化」(15分)
(スピーカー: 松岡譲京都大学教授)
3. 「共通リスクのマネジメントのための情報共有の重要性」 (15分)
(スピーカー: グエン・フー・ハー・ベトナム計画投資省総合経済局副局長)

17:15-17:45 パネル・ディスカッション(スピーカーに以下のパネリストが参加、
フロアとの質疑を含む) (30分)

(パネリスト)(各パネリストの発言は3分以内)

- ✚ ジョン・ホール OECD社会発展評価グローバル・プロジェクト長
- ✚ アルフレッド・レオーネ国際通貨基金(IMF)統計局次長

17:45-17:50 議長総括 (5分)

17:50-18:00 議長閉会挨拶

終了

(19時00分より、中山泰秀外務大臣政務官主催レセプション: 於「ザ・ガーデン・オリエンタル京都」)

2. ラウンド・テーブル（非公開）

10月26日(金)09:00－17:35（於：船井哲良記念講堂一階の多目的ホール）

第一部：「アジア太平洋経済の持続的成長のための政策課題と指標」

09:00－10:20 セッション1：アジア太平洋経済における貿易・投資の質的变化
（議長：ユエン・パウ・ウー・カナダ・アジア太平洋財団所長）

- 企業関係者がエレクトロニクスの貿易・投資の現状をプレゼンテーションする。これにより、アジア太平洋地域において起きている貿易・投資の質的な面の変化を明らかにする。
- 投資受け入れ国政府関係者が、貿易・投資の拡大をもたらす要因（政策の変化や外部要因等）について分析する。また、貿易・投資の拡大が、国内経済に対してもたらした質的な変化（投資受け入れ国の産業構造、国民経済、制度、環境等に生じた変化）を説明する。
- また、投資受け入れ国が直接投資を呼び込むための諸問題についても議論する。
- その上で、貿易・投資が関係国にもたらす質的な変化を知るため、又はモニターするために必要な指標について議論し、共通認識を得る。

09:00－09:40 プレゼンテーション（45分）

1. 議長（ユエン・パウ・ウー・カナダ・アジア太平洋財団所長）による問題提起：「アジア太平洋における貿易・投資の質的变化」（10分）
2. 「アジア太平洋地域のエレクトロニクス分野における貿易・投資の質的变化」（10分）
（スピーカー：岩坪浩村田製作所企画部長）
3. 「貿易・投資拡大の要因が国内経済に対して与えるインパクト」（10分）
（スピーカー：レ・アイン・ソン・ベトナム計画投資省開発戦略研究所副所長）
4. 「アジア太平洋地域における貿易・投資の特徴とその含意」（10分）
（スピーカー：法専充男EiSMAP企画委員（慶応大学教授）

09:40－10:15 討論（35分）

（ディスカッサント）

✚ テクソン・フィリピン大学経済学部教授

10:15－10:20 議長総括(5分)

10:20－10:40: コーヒーブレイク

10:40－12:00 セッション2: アジア太平洋経済の共通課題の分析
(議長:イ・ギョンテ韓国対外経済政策研究院院長)

- **アジア太平洋地域の持続的成長のために取り組むべき共通の課題について議論する。また、政府、企業のとらえる選択肢、対応について議論する。**
- **具体的には、産業構造の変化、技術移転、金融・資本市場や環境・エネルギーに係る課題等について議論する。**
- **また、アジア太平洋地域の持続的成長のための課題を総合的に評価し、分析するための指標について評価・議論し、共通認識を得る。**

10:40－11:20 プレゼンテーション (各スピーカー10分)

1. 「産業構造の変化、技術移転に関する課題と対応」 (10分)
(スピーカー: 洪徳生 台湾経済研究院院長)
2. 「金融・資本市場のグローバル化による課題とリスク:統計的インプリケーション」 (10分)
(スピーカー: アルフレッド・レオーネ国際通貨基金(IMF)統計局次長)
3. 「持続的成長における課題を総合的に評価・分析するための指標」 (10分)
(スピーカー: ピエトロ・ジェナーリUNESCAP統計部長)
4. 「企業から見たアジア太平洋の持続的成長への課題と対応」 (10分)
(スピーカー: 湯川英彦 関西電力企画室国際担当室長)

11:20－11:55 討論 (35分)

(ディスカッサント)

✚ ノーマ・マンソール・マラヤ大学経済経営学部長

11:55－12:00 議長総括 (5分)

(昼食)

第二部:「アジア太平洋経済における情報共有メカニズムの構築を目指して」

14:00－15:40 セッション3: EiSMAPのメカニズムと活用事例

(議長:ムハマッド・カティブ・バスリ・インドネシア大学経済学部経済社会研究所所長)

- アジア太平洋の持続成長をモニターし、共通課題を見つけるための情報共有メカニズムであるEiSMAPについて、その有用性を議論し、共通認識を得る。
- EiSMAP関係者が、EiSMAPの概要(扱う情報の種類、ポータルサイトの構造、運営方法等)、現在の作成状況及び今後の計画を説明する。
- また、PC上でEiSMAPによる分析事例を披露する。
- 今後のEiSMAPの作業計画案について議論し、参加者の賛同を得る。

14:00－14:45 プレゼンテーション

1. 「EiSMAPの概要及びEiSMAPインフォメーション・データベース」 (30分)
(スピーカー:竹内京都大学教授(EiSMAP企画委員)及び和田京都大学講師)
2. 「アジア太平洋の情報共有の課題と協力—EiSMAPの諸原則と対象分野について」 (15分)
(スピーカー:大守隆EiSMAP企画委員(UBSチーフ・エコノミスト))

14:45－15:35 討論 (50分)

15:35－15:40 議長総括 (5分)

15:40－16:00 コーヒーブレイク

16:00－17:15 セッション4: アジア太平洋の情報共有のための協力

(議長:デディ・マシュクール・リヤディ・インドネシア国家開発企画庁大臣特別顧問)

- * セッション3の議論を踏まえ、EiSMAPの持ちうる付加価値やEiSMAPの望ましいあり方について議論し、共通認識に資する。
- * EiSMAPに期待される機能(提供すべき情報、情報提供の形態等)について議論する。具体的には、持続的成長のために特定された重要指標(*crucial indicators*)に基づいて、リスクを評価し、リスク・マネジメントのためのツールとしてEiSMAPが有用であることを指摘。
- * EiSMAPがどのような考え方で運営されるべきかについて議論する。
- * EiSMAPを通じた協力分野(*scope for cooperation*)について議論する。

16:00-16:30 プレゼンテーション

1. 「アジア太平洋における情報共有のための課題と協力: アジア開発銀行 (ADB) の視点」

(15分)

(スピーカー: ビシュヌ. D. パント ADB 開発指標・政策分析課主任
エコノミスト)

2. 「経済政策の改革に係る影響評価の分析手法」 (15分)
(スピーカー: ジョン・ホール OECD 社会発展評価グローバル・プロジェクト
長)

16:30-17:10 討論 (40分)

(ディスカッサント)

- 🇯🇵 チャールズ・モリソン 米東西センター 所長
- 🇯🇵 加藤真 海外環境協力センター 主任 研究員

17:10-17:15 議長総括 (5分)

17:15-17:35 セッション5: クロージングセッション

(議長: 草賀 外務省 経済局 審議官)

*** 本京都セミナーの議長総括について議論し、まとめる。議長総括は、本セミナーの議論のポイント、今後EiSMAPが価値あるものとして完成するために取り組むべきこと、EiSMAPを活用した研究テーマ等を含む。**

1. 議長による25日及び26日のセミナー全体の総括 ※
(※議長声明は、会議終了後に对外発表される。)
2. セミナー閉会の挨拶 (外務省、京都大学)

(18:00-18:30 記者会見: 各セッションの議長が出席)